

平成二十七年九月十日提出  
質問第四二三号

安倍晋三内閣総理大臣の戦後七十年談話に関する第三回質問主意書

提出者 鈴木貴子

安倍晋三内閣総理大臣の戦後七十年談話に関する第三回質問主意書

政府は本年八月十四日、戦後七十年の安倍首相談話を閣議決定し、その後安倍首相は記者会見して発表した。

以下、「前回答弁書」（内閣衆質一八九第三九五号）及び「前々回答弁書」（内閣衆質一八九第三七八号）を踏まえ、再質問する。

一 前回質問主意書で、過去に日本は他国を「侵略」したことがあるか否か、また「侵略」をしたことがあるのであれば、日本が「侵略」した国（場所）はどこかその詳細を示すよう政府に問うたところ、「前回答弁書」（内閣衆質一八九第三九五号）には、「政府としての認識については、今回の談話及びその発表に引き続いて行われた安倍内閣総理大臣記者会見において示されているとおりであります。また、一般的に、歴史的な事象に関する評価については、専門家等により議論されるべきものと考えます。」とした答弁がなされており、当方の質問に対し答えていない。当方は、日本は他国を「侵略」したことがあるか否か、政府の認識及び見解等を問うているのである。日本は他国を「侵略」したことがあるか否か、現政府として端的に答えられたい。

右質問する。